

令和5年4月

各戸の皆様

松阪市教育委員会教育長

**「本居宣長さんの教え 5つのチャレンジ」リーフレット
回覧のお願い**

平素は、松阪市の教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

松阪市教育委員会では、平成26年度から、郷土の偉人として多くの功績をのこした本居宣長さんの「教え」から、学校生活や家庭生活などの場面で、子どもたちがチャレンジしていく風土を学校・家庭・地域の皆様とともに創りあげていきたいと願い、「本居宣長さんの教え 5つのチャレンジ」のリーフレットを作成しております。

子どもたちのよりよい成長を願い、地域の皆様とともに取り組んでいきたいと思ひます。リーフレットの内容をご参照いただき、地域の皆様から、子どもたちへの働きかけや声かけのほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

〈リーフレットの内容〉

本居宣長さんの教え 5つのチャレンジ

学んだことが力となり、豊かで幸せな未来につながるよう、子どもたちの「未来を切り拓く力（主体的に判断できる力、多様な人々と協働していくことができる力、新たな価値を創造する力・新たな問題を発見し解決できる力）」の育成が求められています。

そこで、「未来を切り拓く力」につながるものを、本居宣長さんがのこした言葉から「宣長さんの教え」とし、その教えを踏まえ、子どもたちが主体的に取り組めるものを「5つのチャレンジ」としています。

本リーフレットを、学校と保護者、地域、教育委員会がそれぞれの立場から子どもたちの教育に責任をもち、子どもたちのめざす姿とともに確かめ、連携しながら取り組むための「道しるべ」としています。

令和4年度学力向上推進協議会からの提言

子どもたちにとって、「学校」「家庭」「地域」は、一人ひとりが大切にされ、楽しく関わり合う中で、存在感や自己実現の喜びを実感しつつ、「未来を切り拓く力」を身に付けていく場です。学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの「未来（あす）」を育てていただきますようお願いいたします。

子どもたちがチャレンジする風土を育てるとともに、松阪市で学ぶ全ての子どもと、全ての大人が同じ思いを持ち、連携しながら「子どもたちのめざす姿」の実現が図られるよう、この趣旨をご理解いただき、子どもたちの5つのチャレンジの実現を図るため、あらゆる場面での活用をお願いいたします。

【事務担当】松阪市教育委員会事務局
学校支援課教育課程係
TEL.0598-53-4360

夢に向かって Go5チャレンジ!

「本居宣長さんの教え 5つのチャレンジ」から、1年間続けるチャレンジや、1か月間重点的にチャレンジすることを決めて取り組みましょう。毎月5のつく日は、自分が決めたチャレンジをふり返ったり、新たなチャレンジを始めた日とします。家族やクラスの人などと一緒にチャレンジするのもいいですね。そして、家族や友だち、先生と自分の成長を語り合しましょう!

チャレンジ1 「生活習慣を確立する」チャレンジには、1年を通して取り組みましょう。

【生活習慣を確立する】



□ 3つの時間を決めて、規則正しい生活習慣を身に付けよう。

寝る時間 平日(:)~(:) 休日(:)~(:)

学習する時間 平日(:)~(:) 休日(:)~(:)

読書する時間 平日(:)~(:) 休日(:)~(:)

□ テレビを見たりスマホ・ゲームをししたりする時間を決めて、規則正しい生活習慣を身に付けよう。

○ 1日 ()分まで

○ 夜 ()時を過ぎたら使わない

○ 食事中・勉強中・入浴中は使用しない ※参考 松阪市教育委員会発行「正しく使う使い方 家庭で話そうが家のルール」

チャレンジ2 チャレンジすることを自分で決めたり、家族で話し合ったりして取り組みましょう。取り組もうと思った月にまる(○)をつけましょう。

【主体的に学ぶ】

□ 自分で計画を立てて勉強し、学びに向かう力を身に付けよう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

【説明力を伸ばす】

□ 自分の考えが伝わりやすいように、話したり書いたりしよう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

【考えを深める】

□ 人や本、自然などから学び、自分の考えを広げたり深めたりしよう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

【学んだことを活用する】

□ 学んだことを、日常生活や他の学習でも役立て、生活を豊かにしていこう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

毎月5日はGo 5 チャレンジデー

毎月5のつく日に、チャレンジをふり返りましょう。

「チャレンジ1」と「チャレンジ2」が達成できたら色をぬって、自分のがんばりを確かめましょう。



夢や希望をかなえるために

本居宣長さんの教え

「すべて新なる説を出すは いと大事也」

(たえず自分の頭で考えた新しいことを出してみることはとても重要です。)

自ら問いを見つけ、学んだことを活かし、判断して行動する中で、新たな考えや価値を創り出すことが大切です。

→ 新たな価値を創造する力・新たな問題を発見し解決できる力

「はじめよりその志を高く大きに立ててその奥を究めつくさずはやまじ」

(最初から高い目標を立てて、それを解決するまではやめないと固く決意することが大切です。)

理想を実現しようと、高い志をもち、自分の個性や能力を伸ばして、粘り強く学び、自ら考え、判断し、行動することが大切です。

→ 主体的に判断できる力

「物の心を知るは 世のありさまを知り人の情に通じるより出ずる也」

(物事の本質を理解するということは、世の中の出来事や人の心をよく知ることに始まります。)

自分の考えを根拠とともにわかりやすく伝え、相手の考えを理解し考えを広げたり深めたり、相手への思いやりをもち力を合わせ活動したりすることが大切です。

→ 多様な人々と協働していくことができる力

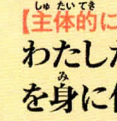
50のチャレンジ

【生活習慣を確立する】



わたしたちは、3つの時間(寝る時間・学習する時間・読書する時間)や、テレビを見たりスマホ・ゲームをししたりする時間を決めて、規則正しい生活習慣を身に付けます。

【主体的に学ぶ】



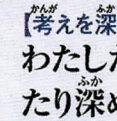
わたしたちは、自分で計画を立てて勉強し、学びに向かう力を身に付けます。

【説明力を伸ばす】



わたしたちは、自分の考えが伝わりやすいように、話したり書いたりします。

【考えを深める】



わたしたちは、人や本、自然などから学び、自分の考えを広げたり深めたりします。

【学んだことを活用する】



わたしたちは、学んだことを、日常生活や他の学習でも役立て、生活を豊かにしていきます。



学力を支える地域、育む家庭、伸ばす学校



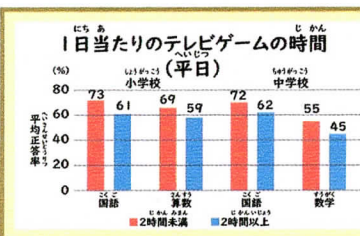
今、子どもたちは、変化の激しい時代を生きています。子どもたちには、自らの可能性を發揮し、他者との絆を大切にしながら、失敗を恐れず夢と志をもって挑戦し、豊かな未来を切り拓く力が求められています。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、教育力を高めながら一体となって子どもたちに「未来を切り拓く力」を育てていきましょう。

全国学力・学習状況調査の学力と相関関係があった項目はこちら→「保護者の働きかけがある子どもの学力は高い」という傾向があります。

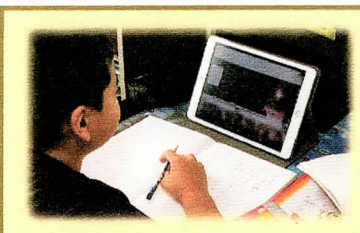
※以下のグラフは、令和4年度全国学力・学習状況調査の「児童生徒質問紙調査」において、学力との相関関係が見られた項目のグラフです。(数字は各教科の平均正答率)



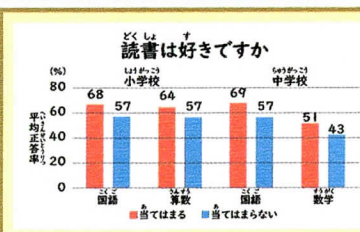
家庭 家族で語らう時間づくり 家庭学習・読書の習慣づくり



学力と「テレビゲームなどをする時間」には関係があります。各家庭で、ルールを話し合ったり、守れているかどうかを確認したりすることが大切です。

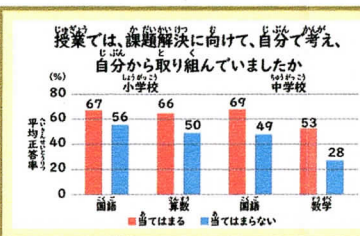


学力と「家庭学習をする時間」には関係があります。時刻や場所を決めて、毎日取り組み、子どもたちの意欲やがんばりを認める声かけが重要です。

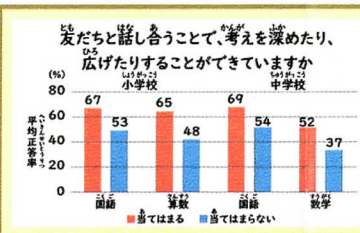


学力と「本や新聞を読むこと」には関係があります。家読(うちどく)の日を決めて、みんなで本を読んだり、読んだ本について話をしたり、家族で読書を楽しんでみてください。

学校 学ぶことの意義を感じられる授業づくり 安全で安心できる学級・学校づくり



子どもたちが課題の解決に向けて、主体的に考えをもてるよう、授業では、「興味・関心を喚起する課題や発問」、「考えをもつ時間の充実」に取り組むことが大切です。



子どもたちが主体的に自分の考えを伝え合い、考えを広げ、深めるために、授業では「伝え合う時間」の充実を図る必要があります。



子どもたちは話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。そのためには、子どもたちが安心して学べる学級・学校づくりが大切です。

5つのチャレンジ応援サイト

【子どもたちへ】
QRコードをタブレット等で読み込み、夢に向かってやってみようと思ったチャレンジに取り組んでみましょう!

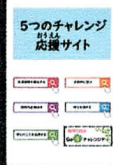
【地域・保護者のみなさんへ】
子どもたちのチャレンジの応援の参考にしてください。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

5つのチャレンジ応援サイト



例えば、【生活習慣を確立する】のページでは、
・3つの時間
・タブレットの使い方
・スマホのルール
などの参考資料を見ることができます。



子どもたちにとって、「学校」「家庭」「地域」は、一人ひとりが大切にされ、楽しく関わり合う中で、存在感や自己実現の喜びを実感しつつ、「未来を切り拓く力」を身に付けていく場です。学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの「未来(あす)」を育てていきましょう。

令和4年度松阪市学力向上推進協議会